

## 令和6年度事業計画（予算編成方針）

令和6年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大から4年を経過し、加えて令和5年5月からは感染症法上の位置づけが第2類から第5類へ引き下げられたことから社会経済活動も従来の活気を取り戻しつつあります。八代市シルバー人材センターにおきましても、会員数においては、過去最多となった昨年度の1208名を大きく上回り、目標値の1267名も突破する見込みでさらなる躍進を遂げています。より多くの高齢者が就業を通じて社会参加することにより、地域社会の活性化に貢献できるよう、一層の会員増強と事業拡大を積極的に進めてまいります。

会員が増加する一方で、センター設立以来取引のあった大口の事業所との契約が終了したため令和6年度は数千万円規模での減収となる見込みです。これをカバーするため就業開拓に全力を挙げて取り組んでまいります。近年、ホワイトカラー出身の会員が増加し、それらの会員が希望する就業先が不足しております。そこで、未就業会員のサポートを行うチーム「シルバー <sup>わく</sup>Work <sup>わく</sup>Work サポーター」を立ち上げて就業先の開拓を進め、同時に未就業の会員にきめ細かい聞き取りを行い、希望職種の変更も含めて一人でも多くの会員に就業の場を提供できるよう根気強く努めてまいります。

令和6年度におきましてはインボイス制度の実施による税負担の財源確保に努めます。又、フリーランス新法の施行に伴う事務処理の効率化を進めるため事務局のデジタル化を積極的に推進し、会員のスマホ向けシステム smile to smile の登録を積極的に進めてまいります。

一方でこれらの取り組みを進めていくためには人的資本の充実も必要です。人材が持つ価値を引き出す「対話」を重視する企業文化への変革と個人が成長できる研修への取り組みを進めてまいります。

目標値の設定につきましては、従来よりもシビアな数値設定と進捗管理をしていくことが求められます。

会員数、就業延人員、契約金額の具体的目標値は、全国シルバー人材センター事業協会の目標値を参考としながら、かつ現実的な数字として第2次中長期計画の令和4年度目標値等を踏まえた設定としたいと思います。

まず、会員数につきましては1320名といたします。その他の項目についても次のとおり実現可能な目標値を設定し、役職員、会員一丸となって達成を目指します。

就業延人員は請負72,000人日、派遣13,000人日、計85,000人日を目標値といたします。

契約金額は請負3億4,000万円、派遣7,000万円、計4億1,000万円を目標値といたします。

目標達成と併せて運営体制の強化を図るため、次のような取り組みを行います。

第一に、業務と会員のデジタル化を進め、効率的な運営の徹底を図ります。同時

に、デジタル化を活用した会員増強と就業開拓に取り組みます。

第二に、多様化する高齢者の就業ニーズに応えるため、ワントタイムサポートや植木かんたんトリマー等の短時間就業により、仕事の幅を広げる取り組みを進めてまいります。

第三に、プラチナネットワーク事業の泉町、及び千丁町への拡充を進めてまいります。

第四に、会員や市民への情報提供の重要なツールとして、smile to smile の登録を進め、同時にホームページの研究、改善を進めてまいります。

第五に、令和6年秋から実施されるフリーランス新法に、適切に対応してまいります。

第六に、社員研修を拡充し、自ら考え行動できる社員の育成に努めてまいります。

事業別では、高齢者活用・現役世代雇用サポート事業を柱に人手不足分野において地域企業に貢献できるよう次の各種事業を展開していきます。

シニアパートナー制度、ホームページ、SMS 一斉送信を最大限活用し、さらに会員拡大を図ってまいります。

空き家・空地管理ワンストップサービス事業は、市の空き家バンク事業と連携しながら契約先を拡大していきます。

平家味噌事業は会員の高齢化と地元での後継者不足により根本的な運営方法の変更を迫られており令和6年度中に一定の答えを出す計画です。

また、会員の高齢化が進んでいるため、安全管理を強化していきます。同時に、会員拡大や就業開拓のキャンペーンに平家味噌を活用してまいります。

子育て支援事業は、子育てしながら働く女性にとって、それを支援するしくみは不可欠であり、当センターは高齢者活躍人材育成事業の保育補助講座と保育園への就業開拓とマッチングを実施することにより新たなビジネスモデルを確立しています。今後も女性会員の増強と併せて積極的に取り組んでまいります。

女性会員を獲得するため、ネイルミーティングや味噌仕込み体験会等を企画し、市民に広く発信してまいります。

高齢者トータルアシストプランは、今日の超高齢社会において高齢者等の生活環境の改善に欠くことのできない事業として受け入れられつつあり、今後さらなる拡充を図ってまいります。

## 1.基本方針

- (1) 「自主・自立・共働・共助」の理念のもと、会員主導によりシルバー人材センター事業の普及啓発活動を推進し、事業の適正化と拡充を図る。
- (2) 定期的に未就業会員の状況把握を行い、適切なマッチング業務を進める。
- (3) 安全対策を強化し、事故の撲滅を図る。
- (4) 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業を柱として、適正就業の推進を図りな

がら会員の就業の場の確保を図る。

(5) 新規会員の入会促進と退会会員の抑制により、会員の増強を図る。

## 2.実施計画

### (1) 広報活動

- イ、広報活動や普及啓発活動をホームページ活用の方へと切り替え、市民や会員への情報提供、入会申込等のホームページ利用を積極的に進める。
- ロ、市広報にセンターの広報記事を掲載する。
- ハ、シルバー人材センター普及啓発促進行事を実施する。
- ニ、受付タッチパネル、新聞折込チラシ、市広報広告等を活用する。
- ホ、会員への情報提供手段を会報からインターネットに移行し、ホームページやSMSを活用する。また、会員へのICT研修を積極的に実施し、会員の生活の利便性を高め、シルバー人材センター会員としての魅力づくりの一環とする。
- ヘ、インターネットを利用した広告手法であるリスティング広告を活用し、シルバー人材センターに興味がある層にターゲットを絞った効率の良い広告活動を行う。

### (2) 事業

- イ、会員数 1,320 人、契約額 4 億 1,000 万円（請負・委任事業 3 億円 4,000 万円、派遣事業 7,000 万円）、就業延人員 85,000 人日（請負・委任事業 72,000 人日、派遣事業 13,000 人日）を目標として、会員に適した仕事の開拓を図る。
- ロ、高齢者活用・現役世代雇用サポート事業を活用し、事業の拡大を図る。
- ハ、未就業者の定期的把握と職員間の情報の共有や、SMS 一斉送信とホームページの活用により、公平な仕事の配分を推進する。
- ニ、会員の smile to smile の ID、パスワードの設定を進め、配分金明細書の発行を原則デジタル化する。
- ホ、プラチナネットワーク事業による地域貢献と会員拡大を図る。
- ヘ、訪問型サービス B において要支援者の生活援助サービスを行う。
- ト、事業拡大と経費節減に取り組み、安定的な自主財源の確保を図る。
- チ、会員の増強を図るための各種取り組みを実施する。

### (3) 研修・厚生

- イ、職員の研修を実施する。
- ロ、新入会員等の研修を実施する。
- ハ、会員の就業機会の拡大を図るために必要な技能講習を実施する。
- ニ、派遣事業に就業する会員の健康診断を実施する。
- ホ、会員の資質向上を図り、より良いサービスの提供と就業拡大のために、職群別に講習会を実施する。

(4) 安全対策

- イ、 事故ゼロを目標に会員の安全就業を図る。
- ロ、 会員から事故報告書の提出を受け、会員個々の安全意識の高揚を図る。
- ハ、 安全就業推進員をおき、安全指導の徹底を図る。
- ニ、 安全就業を徹底するため次の計画を実施する。

計画内容	実施計画
安全指導パトロール	20回
安全講習会	3回

- ホ、 車両運転業務における安全管理を強化する。
- ヘ、 派遣事業における安全衛生委員会を開催する。

(5) 職業紹介事業

- イ、 有料職業紹介事業を行う。